

令和7年

8月

佐伯高校

No.16 地域支援員だより



Topics 1 全国の舞台へ、地域の思いを胸に

7月4日(金)、津田商店街を創る会や地元有志の皆さんのご尽力により、今年も佐伯高校の選手たちを送り出す激励会が開催されました。全国大会に出場する女子硬式野球部とアーチェリー部男子団体の選手たちに向けて行われ、地元の皆さんから温かい声援と激励の言葉が送られました。選手たちも感謝の気持ちを胸に、全国の舞台で力強く戦う決意を新たにしていました。地域がひとつになって選手たちを送り出す、佐伯ならではのあたたかい空気に包まれたひとときでした。選手たちの活躍を期待するとともに、今後も地域と高校が力を合わせ、こうした絆を深めていきたいと思えます。



Topics 2 チャレンジプランコンテスト 最優秀賞は釣り分布図の提案!

7月9日(水)、水と緑のまち さいき文化センターで「チャレンジプランコンテスト」が開催されました。これは、総合的な探究の時間「SAEKI QUEST」で生徒たちが「やってみたいこと」にチャレンジするためのプランを発表する場です。SAEKI QUESTの特徴は、生徒自身がテーマを設定し、自分事として主体的に取り組める点にあります。今年度の最優秀賞に輝いたのは、3年生が提案した「小瀬川で魚が釣れるポイントを発信する分布図づくり」でした。発表では、「釣れる場所が分かれば多くの釣り人が訪れ、地域経済が潤う。遊漁権の売り上げが上がれば小瀬川の保全にもつながり、釣りを楽しむ人と地域の双方に良い効果が生まれる」と語りました。

後日、見学された地域の方からは「高校生たちの挑戦や頑張りを拝見して元気をもらい、早速、地域の花植えの補助金申請に行ってきました。ありがとう。」とご報告をいただきました。高校生の頑張りが地域の方々の力や元気につながっていることを、とても嬉しく感じます。



令和7年

8月

佐伯高校

No.16 地域支援員だより

全員主役!



佐伯中学校でテスト前対策公営塾を実施

6月27日(金)の放課後、佐伯中学校でテスト前対策の公営塾を開講しました。生徒たちは持ち寄った課題や問題集に取り組み、英語や数学の分からない問題は講師がマンツーマンで解説しました。当日は飛び入り参加を含む19名が集まり、「分からなかったところが分かるようになった」「集中して勉強できた」など、前向きな感想が寄せられました。多くの中学生が「勉強に集中できる場所」を求めて公営塾に参加しており、佐伯高校でも自主学習・個別指導クラスとして毎週月曜日に公営塾を開講しています。



吉和中で「旅する教室」特別授業を実施

7月17日(木)、吉和中学校で公営塾「旅する教室」の特別授業を実施しました。中学1年生から3年生までの12名が参加し、ゲームを交えながら英会話や異文化を楽しく学びました。当日は、吉和中出身の佐伯高校生2名もサポーターとして参加し、ゲームを盛り上げながら高校生活についても話してくれ、中学生にとって進路や高校を身近に感じるきっかけとなりました。「旅する教室」は佐伯高校でも毎週月曜日に実施され、無料で参加できます。吉和中の生徒からも「とても楽しかったし、英語についてたくさん学べた」と感想が寄せられ、佐伯高校と吉和中学校の距離がぐっと近づいた一日となりました。



ルビーリーグ Vs.新田高校

7月5日(土)、佐伯総合スポーツ公園で佐伯高校女子硬式野球部がルビーリーグに出場し、愛媛県の新田高校と対戦しました。当日は厳しい暑さの中、下宿を受け入れてくださっている管理人さん方も応援に駆けつけ、一緒に声援を送りました。先制点は新田高校に奪われましたが、選手たちは最後まで集中を切らさず白球を追いかけ、最終的には15対4のスコア勝ちを収めました。応援席からは大きな拍手や歓声を送られ、ベンチの雰囲気も明るく、チーム全員でつかみ取った価値ある一勝となりました。



津田小野活 佐伯校生がボランティア参加

7月9日(水)から1泊2日で行われた津田小学校5年生の野外活動に、佐伯高校の生徒がボランティアとして参加しました。活動は浅原地区で行われ、子どもたちは地元の自然に触れながら、改めて地域の良さを感じる機会となりました。高校生たちは、初日の川遊びやキャンプファイアなどで子どもたちの活動を見守りながらサポートし、地域の大人とともに子どもたちを支える立場を経験する貴重な時間となりました。こうした取り組みに高校生が関わる姿は、地域に温かさと活気をもたらす、心に残るひとときとなりました。



佐伯高校魅力化担当 地域支援員 稲田